

吉田町の幸せ広め隊

4年生の「吉田探究」がいよいよ今日からスタートしました!まずは、どんな「吉田を探究するのか」学年で共有する会を開きました。できるだけ「密」を避けようと、4年生の先生方は、GoogleMeetを利用して3つの教室をつなぎ、共有する会を行ってくれました。



子供たちは、自分たちの教室が画面に映ったり、他の教室が映ったりすると大喜びでした。そして、それぞれの教室にいる先生が画面に映ると、別々の教室にいるのに、同じ場で学んでいるかのような雰囲気になっていきました。

3つのクラスがGoogleMeetでつながると、「どんな吉田探究にしていくのか」を担当の先生が「画面共有」という機能を使って説明しました。

画面共有をすることで、違う教室にいても、同じ先生から同じ説明を同時に聞くことができます。

それぞれの教室をのぞくと、別々の教室なのに同じことを学んでいる一体感のようなものを感じました。



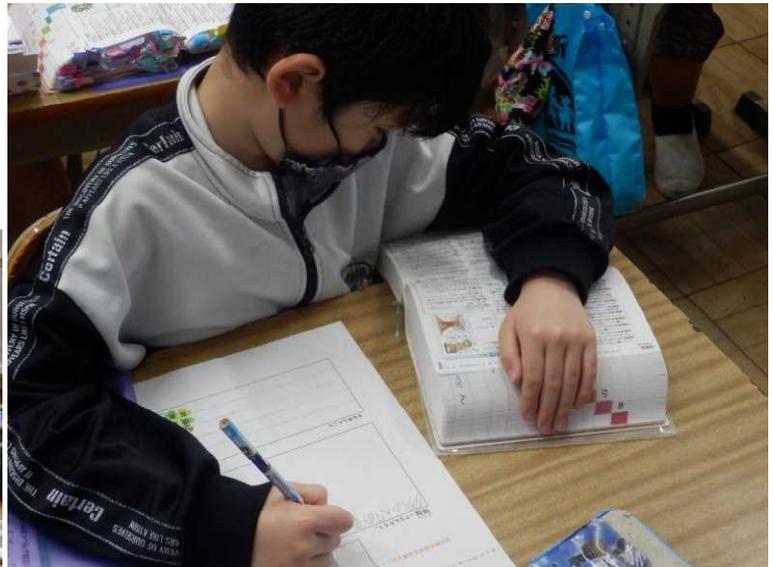
さてさて、肝心の吉田探究ですが、4年生では、「福祉」をテーマに学習します。そこで、「福祉」って何かを子供たちに投げかけました。すると、さっと子供たちは国語辞典を取り出して、「福祉」の意味を調べ始めました。子供たちはデジタルの時代を生きようとして、アナログである国語辞典のよさもちゃんとわかっているんです。



先日も、6年生で国語辞典を使って学習しました。すると、子供たちは、探していた言葉の近くにある言葉にも目を向けて、「こんな言葉があるよ!」と新しい言葉に出会っていました。

4年生も「福祉」という言葉を辞書で調べ、「今年、吉田探究で何を学ぶのか」を真剣に考える姿が見られました。

4年生は、辞書に慣れているのか、辞書をひくのが早くて、調べた言葉をもとに、自分の考えをぐいぐいワークシートに書いていました。



そして、今年1年間、4年生が吉田探究で追究するテーマが「吉田町の幸せ広め隊」となりました。

ちなみに、この日の前日に担任の先生が「明日は、吉田探究だよ」と子どもに伝えると、子供たちは「やった～ようやく吉田探究が始まるんだ! 今年は何をやるの!」とうれしそうに言っていたそうです。

4年生が3年生の時の吉田探究で書いた感想に

小学三年生が作ったものが、お店で売られたり、新聞やテレビに出たり、**普通じゃ考えられないことが起きました。**ぼくはシラスをPRするために、みんなでいっしょけんめい作った**シラステキシールが大人に認められてびっくりしました。**

というものがあります。4年生の子たちが、今年も吉田町の人やもの、こととふれ合いながら、「自分たちの学びが大人に認められる」そんな追究をしてください。今から楽しみです。